

第15回 那覇市議会報告会

**本市における
水産業（泊漁港）の現状について**
(泊漁港に対する市議会の対応)

那覇市議会 厚生経済常任委員会

本市水産業（泊漁港）の概要

マグロ類の好漁場

**「生鮮マグロ」として水揚げ
県全体のマグロ生産量の約半数**

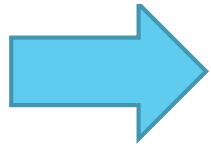
＜県水産業の拠点＞

平成22年 市の魚を「マグロ」と制定

平成30年 「マグロ類の拠点産地」（県から認定）

【生産者】
漁業者

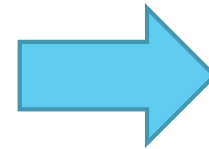
魚を
水揚げ



【地方卸売市場】

開設者：セリを実施
仲買人：セリにて落札

仲買人より
消費者へ



【消費者】

- ・ 泊いゆまち
- ・ スーパー
- ・ 個店 など

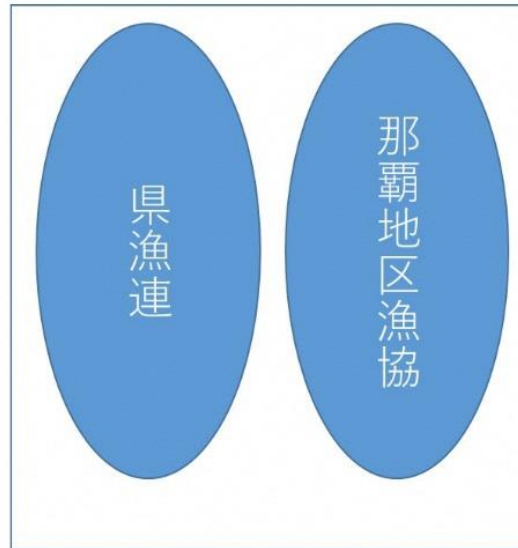
平成20年～令和3年3月31日

泊魚市場有限責任事業組合（LLP）による共同運営

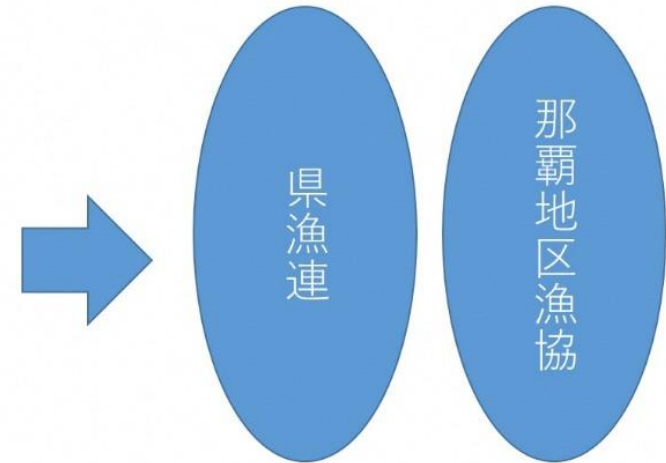
令和4年4月1日～

LLPの解散
泊魚市場内で2つの地方卸売市場が開設
県漁連・那覇地区漁協
それぞれが魚市場を運営

LLP：令和3年3月31日まで



LLP解消：令和3年4月1日以降



沖縄21世紀ビジョン実施計画～糸満漁港における高度衛生管理型施設の整備

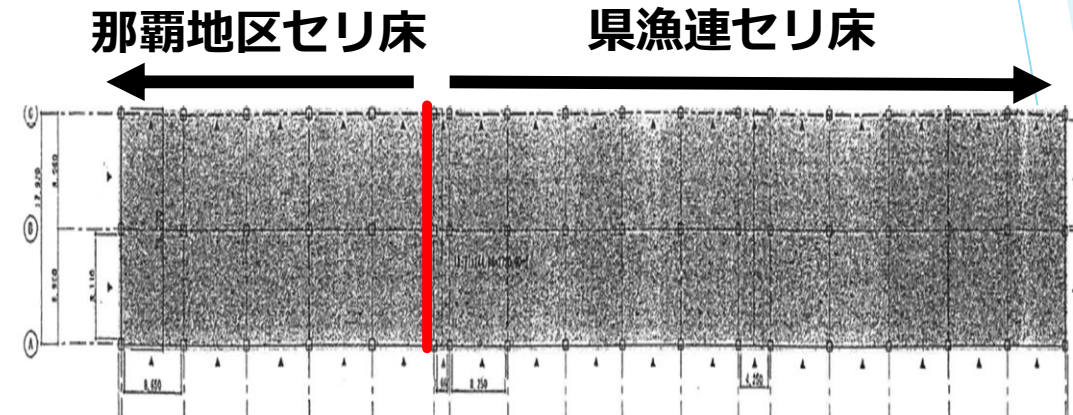
LLP解散による課題

那覇地区漁協の魚市場面積が水揚げ量に対して不足

■ 間仕切写真



■ 荷捌施設内イメージ図



那覇地区漁協は、魚市場面積不足の課題解決のため
県漁連所有の荷捌施設の貸与等について
市、市議会、県、県議会へ陳情を提出

那覇市議会採択及び意見書の可決について

那覇市議会

陳情を令和3年9月定例会にて採択

厚生経済常任委員会

- 那覇地区漁協のセリ場面積不足の課題解決を要請
- 泊漁港一帯の再整備について、全会一致で可決

「沖縄県管理の泊漁港に関する意見書」

令和3年10月8日付で沖縄県知事等へ提出

今後の泊漁港の方向性と課題

那覇地区漁協を中心とする漁業関係者（6団体）
➡今後も泊漁港での水揚げを継続する強い希望

約5,000トンは今後も泊にて水揚げされる予定

■ 課題

- ・ 荷捌施設面積の不足と施設の老朽化
- ・ 泊いゆまち～駐車場と飲食スペースの不足
- ・ 放置艇の処分の遅れ
- ・ 岸壁の耐震化 など

泊漁港の再整備について

県が管理する第2種漁港。土地の用途：県が権限を持つ

- 県主催
「泊漁港関係団体調整会議」

再整備に係る課題や解決手法等
意見交換を実施

- 市の役割
荷捌施設の建替えを支援
衛生管理を高度化



産地間競争力の強化